

総集編

おじさま...

だいすき♡

センパイ...

援交生ハメ女子♡

体験版



おじやあも...
だいすき♡

あも...♡

おじやあも

いちやあも

生セックス♡



あまがみ堂





はぁ♡
はぁ♡

あぁっ おじさまぁ♡
オマンコお
キモチ…イイのお♡

れっ
れっ

はぁ♡
はぁ♡

可愛い…
こんな顔をされると
つい苛めたくなる

イチゴが真っ赤な顔で
太ももを
押しつけながらささやく

れろ
れろ

はぁ♡
はぁ♡

お…女の子に
そんな事聞くなんて…

おじさまって
本当に変態っ！

もしかして
もうイキそうなのか？

れっ
れっ



はぁ♡
はぁ♡

すっかり濡れたソコを
丹念にクンニしていた

——とまあ…俺は今
歳の離れた黒髪の
美少女の股間に顔を埋め

れろ
れろ



はぁ♡
はぁ♡

そして…何故こんな事にな
ったかというと――

れろ
れろ

お…お嬢!?

なんで
貴方がココに…?



あら？ 私は
『イチゴ』ですよ？
おじさま♡

それに…今はまだ
接待中なのでしょう？
大きな声は 控えた方が
よろしいのではなくて？



むう…

確かに…自社の社長令嬢が
デートクラブにいました

などと騒ぎ立てる
わけにもいかず
俺は押し黙る



あら…
怖い顔♡

少しお酒でも
召し上がったら
如何かしら？



…では頂きますが…
後で時間を頂きますよ？

しっかりと『お話し』したい
事がありますので

うふふ…
何のお話かしら？

あら…
お酒も来た様ですし…
乾杯しましょうか♡



あなたはお酒はダメです
若い女性のアルコール摂取は
なにかと高リスクです

女性ホルモンは
アルコールの分解を
妨げるケースが――

はいはい そんな事も
あろうかと私の分は
ソフトドリンクですよ？
おじさま♡



…なら結構
では――

ええ
2人の出会いに…
乾杯♡



そんな茶番劇の
しばらく後…



俺は
意識を失った――





…ってイタタ…
…はど…だ？

知らない天井だ…

…

おじさまっ
目が醒めたのね!?

…お嬢?
つて…ここは…
うう イタタ…



…ここはホテルのベッドルームで
おじさまがお酒に酩酊してから
1時間程経っているわ

うう…おかしいな…
あれほどの酒で…
ううつ!?

それに
まだ接待が…



お おじさまの接待相手は…
別の女の子を連れて
スイートへ移ったわ…

その後の手配は
但野さんがしてくれたから
問題は無いはず…よう？

…但野が？



但野は俺の部下で…
今回のデートクラブを
手配してくれた男だ

だが
何故ヤツが…？



そして…
ごめんなさい

おじさまが酩酊したのは…
私がお酒に
一服盛ったからです…



なっ…なんで
そんなコトを…

ごめんなさいっ…

ちよつと酔いが
回りやすくなる程度のお薬と聞いていたのだけど…

おじさまには
効きが良すぎたみたいで…



はあ…というか
色々腑に落ちましたよ…

今回
お嬢を手引きしたのは
但野のヤツですね？

いや…お嬢が但野に
ムリヤリネジ込んだ…
ですか？

はい…その通りです…
ごめんなさい



まったく…どうしたって
言うんですか…

デートクラブなんて
名乗ってはいませんが…
ここはいわゆる売春宿ですよ？
冗談にも程が――

じよ…冗談なんかじゃないわ！
わっ 私は…その本気なもの！



本気…？ いいですか？
お嬢…それこそ冗談にも
程があります

社長令嬢であるあなたが
父親の部下である私を――

ええ…そうよ
好きなの…

ずっとずっと…
好きだったのよっ！
それが悪いコトなのかしら!?



お…お嬢？

それこそおじさまは…
私の初恋の人で…
今でもずっと
想い続けている相手なのよ！

なのに…あんな女と
結婚するなんて…



…『あんな女』でも
一時期は私の妻だったんです
誹謗中傷は止めてください

なによつ おじさまという
夫がいながら…
ホストに入れ込んで
海外に逃げちゃう様な女！



…彼女も
甘やかされて育った
社長令嬢ですからね

私のような小言の多い男は
苦手だったのでしょうか

…どうせおじさまだつて…
お父様の顔を潰さない為に
あの縁談を受けたんでしょう!?

おかげで…おじさまの戸籍に
バツイチが付いてしまったわ!



それでも…あなたの父
如月社長は…私の事を想って
あの縁談を
進めてくれたんですよ…

とはいえその嫁が…
あそこまで尻軽だったのは
想定外でしたが…

ふんっ どうせ先方も
『娘も結婚すれば少しは
落ち着く』程度に
考えていたのではなくて？

そそれにおじさまは…
高学歴で仕事も出来るし…
その格好良いし…♡



まあ…彼女が私を
そう言う目で見ている事は
否めませんがね…

とはいえ彼女が
本当に求めている相手は…
とにかく甘やかしてくれる
夫だった様ですが

むう 同じ社長令嬢でも…
私は甘やかされた記憶が
ほとんどないのだけど？



ええ…そこは私が厳しく
お育てしましたからね

その厳しく育てた
私の生徒がデートクラブで
援交JKをしていたのは
正直ショックでしたが

ふんっ 私だって…
家庭教師がデートクラブを
使ってるなんて…
ショックも良いところだわ!



お嬢…これは仕事
接待なんですから――

あら？ 私だつて
お仕事よ？『毎2個』…

すなわち15000×2の
3万円で身体を売る
援交JKのお仕事よ♡



それで『イチゴ』ですか…
って…どこでそんな専門用語を…
今の学校の…学友ですか？

あそこは偏差値も低く
お嬢にはふさわしくないと
あれほど――

おじさま？
それこそ私の友人達なのよ？
誹謗中傷は止めて頂戴



…失礼しました
ですが――

ですが…
じゃないわ!?

私はずっとずっと…
おじさまが好きだったのに…
あんな女と結婚しちゃうし!?



…お嬢

ええ！ おじさまが
恩人である私の父に
義理立てしているのは
よく判ってるわ！

だから私を…大事に
思っていてくれる事も！



…でしたら――

ばっ

ならっこうするしか
ないじゃない!?

そう……に……いるのは
社長令嬢の『綾』じゃない……

ただの援交JKの
『イチゴ』なのよっ!?





んちゅ♡ちゅ…
ねえお願いよお…

おじさまのモノに
なれないのなら…

せめて『イチゴ』として
抱いて頂戴…んちゅ♡

ちゅ♡



お...お嬢...

お嬢じゃないわ...
ちゅっ♡ イチゴよう?

それに...敬語はやめて
ちゅ♡ お願い...おじさまあ

ちゅ



判りましー
いや判った

え? ええ…
その通りよ?
んんっ!?

ここに居るのは
如月のお嬢じゃなくて…
ただの援交JK…
そういう事だな?

ちゅ



くちゅ…ちゅるっ…
なら遠慮は
要らないって事だな？

じゃあ…ここはひとつ…
小賢しい手管を使う
小生意気なJKに
お仕置きしないとなあ
…んちゅ♡

んんんっ!? ぷはっ!?
な…なにコレ…
おじさまの舌が…
んちゅるっ!?

あ…あひっ♡ やあ…
そんなトコ…あひいい♡

ちゅっ
ちゅっ


それでもその手の経験は
それなりに積んでいてね…
クチユ♡

おやおや…ずいぶんと
感度が良いんだねえ？
イチゴちゃん♡

ちゅっ
ちゅっ

あふっ♡
くちゅ…くちゅっ♡
らめ…え♡

あひっ♡ はぐき…
ぺろぺろされてる…♡
あっ♡ あっ♡ あっ♡
ら…らめえ♡



ああ…もつと感じて…
ちゅっ♡力を抜いて…
俺に身を預けて？ちゅっ…

ふふ イイコだ
可愛いよ…イチゴ♡



ぴん

ぴん

んんんんん♡
ら…らめえ♡あひつ♡
あつあつんんん!!?

あひつ



ちゅっ…おっと…
キスだけでイっちゃったか…
敏感なんな…
イチゴちゃんは♡

はあ♡
はあ♡

じゃあ…これに懲りて
少しは大人しく—

ま…まらよう
おじさまが…
きもちよくなつてないわ…



おじよー
イチゴ…

はあ♡
はあ♡

そ…それにおしおきなら…
もつとわらひを
痛くしなさいよ…!?

しよ…処女膜だつて
おじさまの為に大事に
取つてあるんだからあ♡



イチゴ…判ったよ
イチゴの処女…
俺が貰うからな？

はあ♡
はあ♡

ああ…嬉しい♡
おじさま…おじさまあ♡
んちゅっ♡

ビュッ

ビュッ

もちろんこれが
ただの茶番だと言う事は
承知している

はあ♡ はあ♡

そして大義ある社長への恩は
ひとときも忘れた事はない…

ビィ
ンッ

ビィ
ンッ

それでも…

俺は愛おしくて
堪らなかった…

華奢な身体で必死になって
俺にしがみつく彼女が

はあ♡ はあ♡

ビィ
ンッ

ビィ
ンッ



本当に

キモチいい

センパイ！
だいスキ♡



おっ...♡

黒ギャル後輩の

イ奉仕生ハメ♡

あまがみ堂



DOWNTOWN STREET

フリー
麻雀
くん

サン
プラス


パティ
iserie

Pinky Way



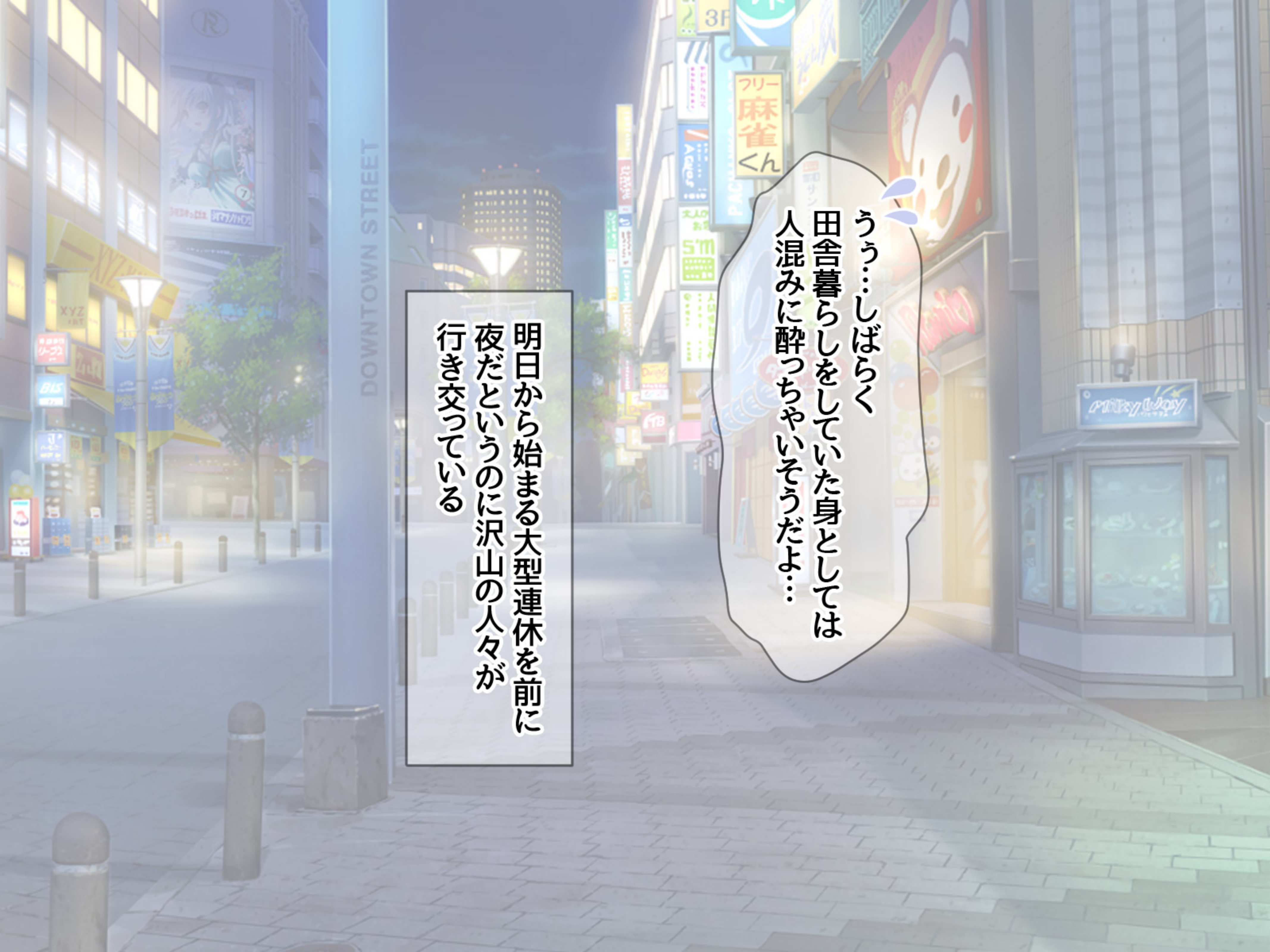
DOWNTOWN STREET

うわ…相変わらず
凄い人だなあ…



数年ぶりに訪れた
東京でも有数のターミナル駅…

僕はその駅前に
立ちすくんでいた



うう…しばらく
田舎暮らしをしていた身としては
人混みに酔っちゃいそうだよ…

明日から始まる大型連休を前に
夜だというのに沢山の人々が
行き交っている

どん

そんな時…ぼんやりと
立ちすくむ僕の背中に
軽い衝撃を受けた

背中から聞こえるその声に
僕は振り返りながらそう応えた

すっすみませんっ
こんなところに
突っ立ってたら
邪魔でしたね…

あ…
ごめんなさいっ

いえ……っちも
スマホ見てたんで
え？

そう言いながら
僕の顔を見るその人は…
制服姿の女の子だった



明るい色の茶髪
黒く焼いた肌
そしてやや濃いめのメイク…

わっ…
いわゆる黒ギャルってやつか？
うう…苦手なタイプかも



内心 そんな風に
考えていた僕の顔を
その女の子はじっと見上げている

な…なんだか
凝視されてる？

うう…やつぱり僕…
田舎臭いのか？
浮いてるのか!?





……なん？

せん…ぱい？

唐突に飛び込んでくる
そんな声に戸惑う

そんな風に僕を呼ぶ
その声に心当たりがあったからだ



センパイ…帰って…
これたんですね…？

そ…その声…まさか…
三崎くん…なのか？




数年ぶりに出逢った彼女…
『三崎 るみ』は
まるで別人の様に
豹変していたのだった…



数年前：僕は
学生会に所属しており

僕が会長で
一学年下の三崎くんが
副会長という間柄だった





当時の彼女は 黒髪に白い肌

きつちりとした制服の着こなしの
いかにも学生会役員という姿で…

会長の僕を
副会長として支えてくれた
いわばパートナーだったのだ

正直……
ショックだった

彼女に一体何があったんだ？
思わずそんな事を考えてしまう



しかしそんな僕に
彼女は気づいたのだろう…

おどけた態度で
彼女はこう言った



え…あ あはは♪
は…い☆
今ギャルやってまーす♪

こーみえて
けつこー遊んでいますから
モテまくりでーすw



そ…そうか
げ…元気そうでなによりだ

気の利いたセリフなど
出てくるはずもなく
思わずそんな風に返してしまう僕…



はあ？ 何ですか
そのリアクション



そーゆーときは
『すごくカワイイよ』
とかー

『キレイになったね』
とか言うモンでしょー？

す…すまない ええと…
すごくカワイイ…よう？



えへへ♪
そーでしょーとも！

もーセンパイの
知ってるあたしじや
ないですよw

あああ…
びっくりしたよ…
お大人っぽくなって…





んふふー♪
あゝセンパイこそく
あいかわらず
モテないんでしょお?

ふふつ
あたしぐらいですよお?
センパイにコクるヤツなんてW

.....
.....

そんな彼女の懐かしい軽口に…
思わず胸がキュツと傷む



そう…転校の前日…
僕は三崎るみに告白されている

今みたいに…
冗談混じりの軽い口調で…

『あたし…
センパイのことが
好きでした』
…と

そして僕は
そんな彼女の言葉に
応える事ができなかった…

『嬉しい』とも
『逢いに行くよ』とも言えず

ただ愛想笑いをして…



…センパイ？
どこかしましたか？

ああ…その通りだ
あれからずっとひとりだよ

それどころか 君の様に
軽口を叩いてくれる
異性すら居た事はない



そ…そう
ですか…

……ええと

じゃあ君は
デートだったりするの？
これから その…彼氏と？



え？
カレンシ…ですか？

いっ いやその…
すごく君が可愛くなつたし…
居るんだろぅな〜と…

ああ…
僕は何を言っているんだ!?

確か…こういう質問は
セクハラ案件に
なるんじゃないか!?



案の定
彼女はいぶかしげに
僕の顔を見やる



そりやそうだ…
数年ぶりに再会した異性に
いきなり言われる話題ではない

ああ…もう何を言ったものか…
そんなふうに身悶えていると――





.....
えっ？

センパイ..
もし..もしも
ですよ？
..カレシ
いないって言ったら..



まだ…あたしに
チャンス——ありますか？

ななな…
何をいつたい…!?

……

じつと、こちらを
見つめる彼女



こいこいこれはやはり
僕に対しての告白!?

ああっ どうする!?
どうすれば!
どうしよう!?

……うふふ……

……え？

そんな風に狼狽する僕をよそに
彼女は不意に笑みを浮かべる





!?!?

センパイ…もしかして
本気にしちゃいました？

もお…あたし
さっき言いましたよね？

『けっ…遊んでますから
モテまくりです』
って

あ…ああ
そういえば…



なら そんなあたしに
カレシ いないわけ
ないじゃないですかー

そそうか…
そう…だよな

彼女から聞かされる
そんな事実

判つてはいたはずなのに
僕の胸はひどく傷んだ



んーセンパイのその顔
少しは残念だーって
思ってます？

え？ あああ…
そう…なんだろうな
残念だよ…



正直に言えば
『ふし』どころではない

とはいえ僕は
そんな心情を必死に隠し
なんとか愛想笑いを
浮かべようと努力する



そうなんですか？
あつもしかして…

あたしがいかにも
遊んでそうな黒ギャルだからって…
簡単にセックスできるとか
思っちゃってます？

だったらごめんなさい
あたしテクもお金もない
童貞はちよつと…

お…思っていないよ
そんなこと!?



そうなんですか？
センパイはあたしと
セックスしたくないんですか？

やっぱりあたしなんて
センパイにとって
セックスする価値のない
女なんですネ…ぐすっ

ちっ 違うよー！



その…正直 黒ギャル？
になってたのは驚いたけど

君は相変わらず
可愛いし…そろそろその…
すごく魅力的だと思う



センパイ…それ
本当ですか？

ほ…本当だよ
少なくとも
その気持ちに嘘はない



言えた…やつと
学生時代
一度も言えなかった
彼女への想い

もちろん後悔はない
例えそれが
恋人のいる相手への

報われない想いだとしても…



15
分
後



じゃセンパイ♪
童貞…捨てちゃいましようか♡

みみみつ三崎くんっ!?
やはりこんな事は…



もうセンパイったら…
まだそんなコト
言ってるんですかあ？

ってゆーか…
しっかりシャワー浴びて
バスタオル巻いただけの
格好で言われても

説得力ないんですケド？





こっこれは…
君に無理やりひん剥かれて
浴室に押し込まれた挙句…

脱いだ服を隠されて
しまったからであつて…

服はちゃんと
後で返しますよお？

センパイの童貞と
引き換えに♡

いやだから！
そもそもこんなのは
おかしいと——



おかしいって…
何がおかしいんですか？

さつきセンパイ
言ってくれましたよね？

あたしのこと…
すごく可愛くて…魅力的で…
生ハメセックスして孕ませたいって♡

さ 最後のは
言っていないよ!?



センパイ…
いまさらそんなコト言うの
男らしくないですよお？

センパイが
童貞で短小で包茎だったとしても
あたし気にしませんから♪

あ…でも
ちゃんと皮ムいて
しっかり洗っておいて
欲しいんですケド

どどど…童貞だけど
包茎じゃないから!?



そうなんですか？
でも短小なのは
否定しないんですね？

た…多分
違うと思うけど…

他の人と比べたこと
ないから分からないよ!?



んー確かに
センパイが他の男の人と

勃起チンポの
比べっこしてるのは
あんまり想像できませんねえ

ちよつ!?
変な想像しないでよ!



だから想像してないって
言ってるじゃないですか…

そもそもセンパイが
男のチンポより

女のコのおツパイに興味津々な
あたしちゃんと知ってますから♪

こ…肯定も否定も
できない様な事
言わないでよ!?





今日だってセンパイが
チラチラ
あたしの胸の谷間覗いてるの
気がついてますからね？

あ…あたしとしては
嬉しいですけど…

他のコにそういうコトすると
訴えられますからね？

ごめんなさい
そして反省してま——なっ!?

そう言う
僕のセリフを遮るように
彼女は突然バスタオルを…



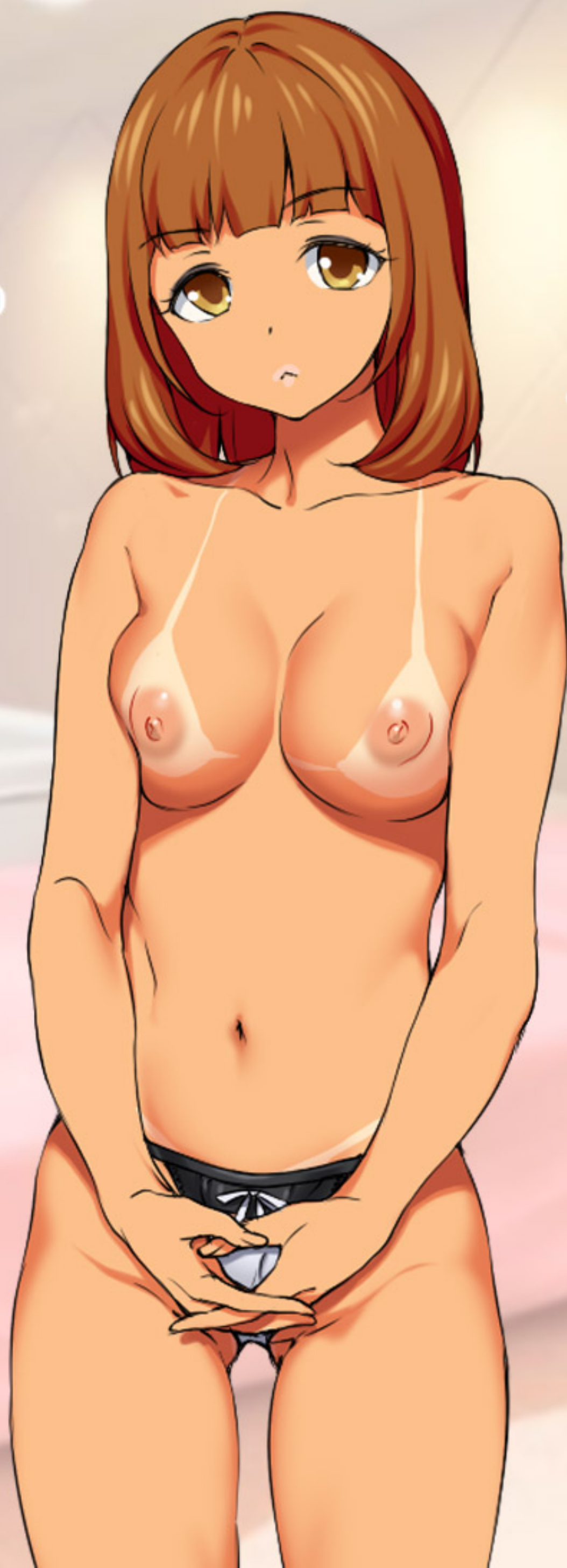
もー
あたしは嬉しいって
言いましたよ？

そこは謝るんじゃないくて
もつとあたしのオツパイを
褒めるべきじゃないですかあ？

そそそ
そういうもののなの!?

パイズミ...

とはいえ...
初めて見る生のオツパイに目が釘付けで
僕の思考はすっかり停止してしまう

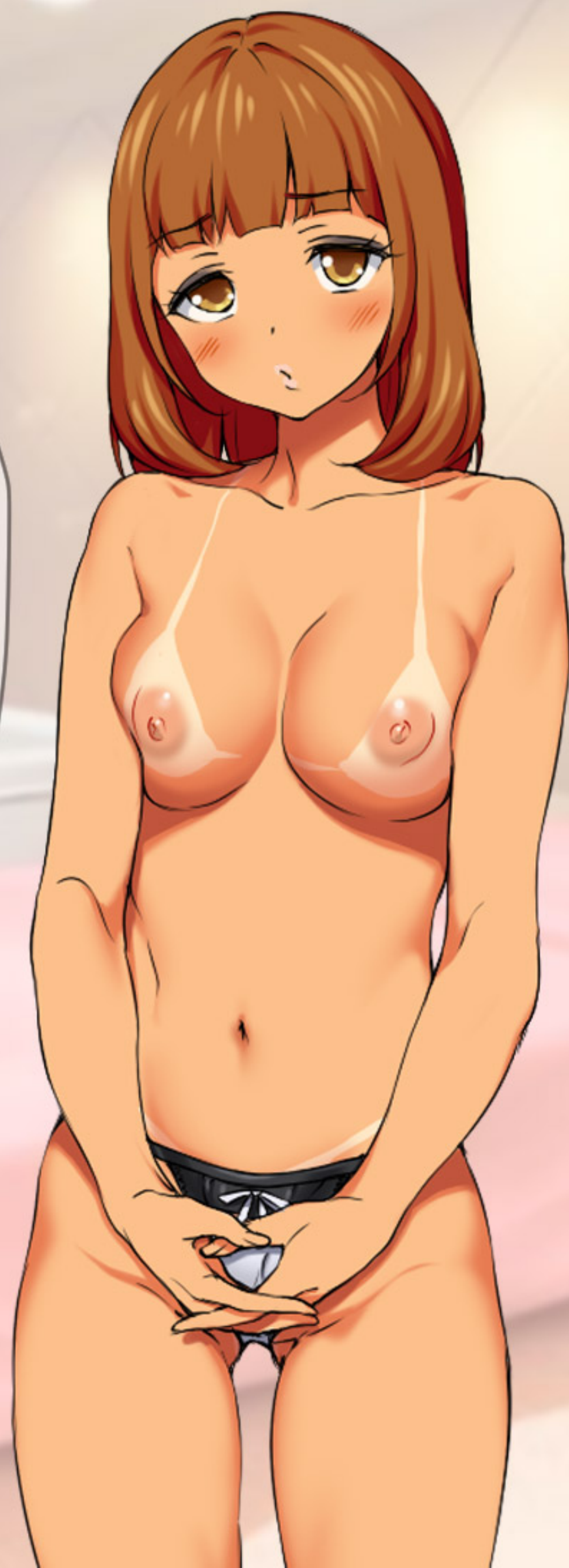


とにかく！
センパイが相変わらず
朴念仁で

女のこの気持ちにゼンゼンっ！
わかってなくて…

このままだと 恋人どころか
一生童貞すら
捨てられそーにないのは
よくわかりましたから

ひ…ゾクゾク!!?



だからあ…
黒ギャルビッチのあたしが

センパイの練習相手に
なつてあげるつて
言ってるんですよ♡

……
……え？



あ 大丈夫ですつてー
あたしエンコーで
こういうの慣れてますし？

そもそもとつくに
オマンコの膜なんか
ありませんから

気にしないで
ハメちやつてください♪

え…援交つて…
君がか？

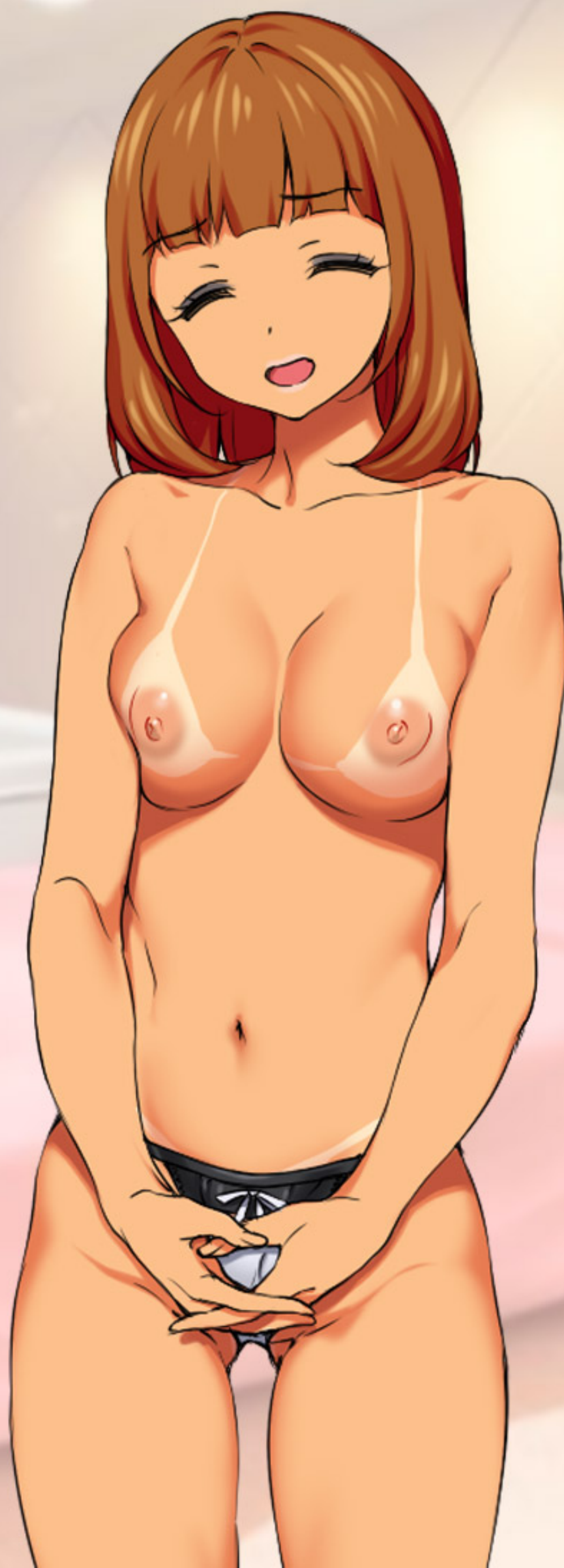


ええ エンコーは
ヤリマンビッチの
嗜みですからね♡

って…そもそも
イマドキのJKは
みんなやってますし？

そもそも恋愛と援交は
別って考えてるコ…
多いんですよ？

そ…
そうなのか…？

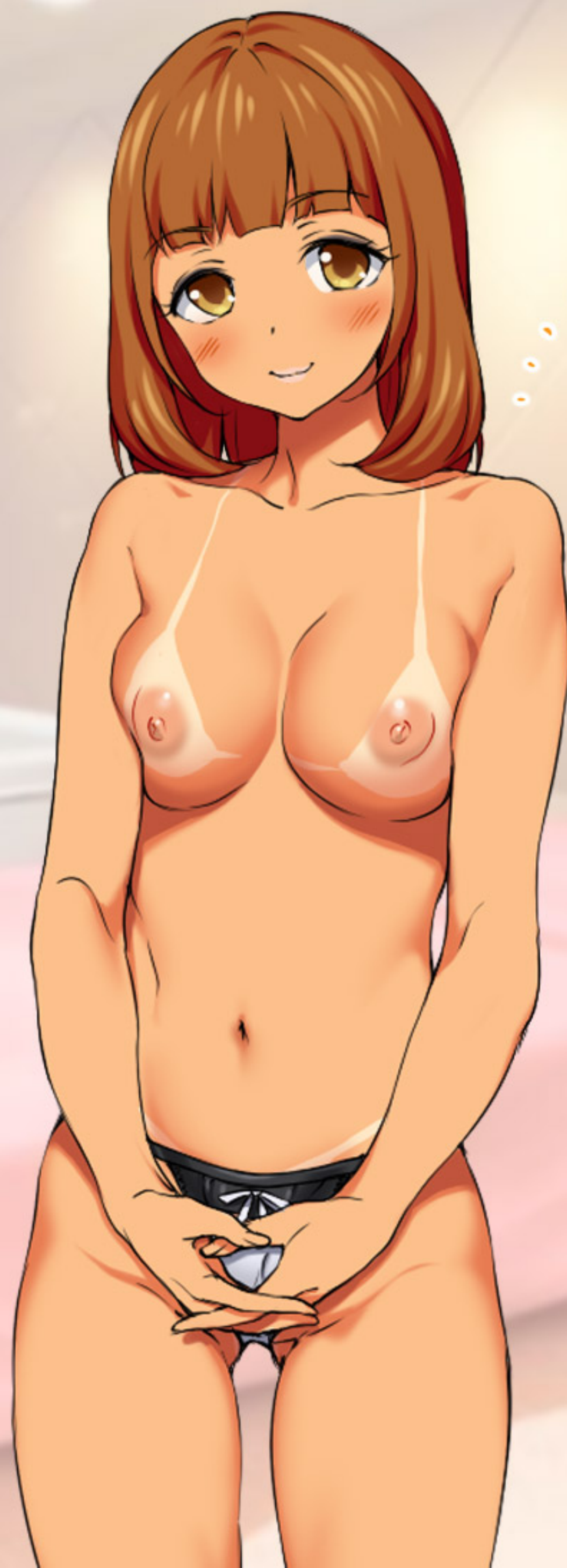


そーです♡

あ…でも残念ですケド
ゴムセックスですからね？

遊びだから…そ
ヒンは大事ですから♪


あ遊び…いや…三崎くん
やっぱり…こんなのおかしいよ！



センパイ…？

そもそも…
僕らが数年ぶりに再会して
まだ30分も経っていないんだ
なのにこんな
いきなりラブホテルで
セックスなんて――





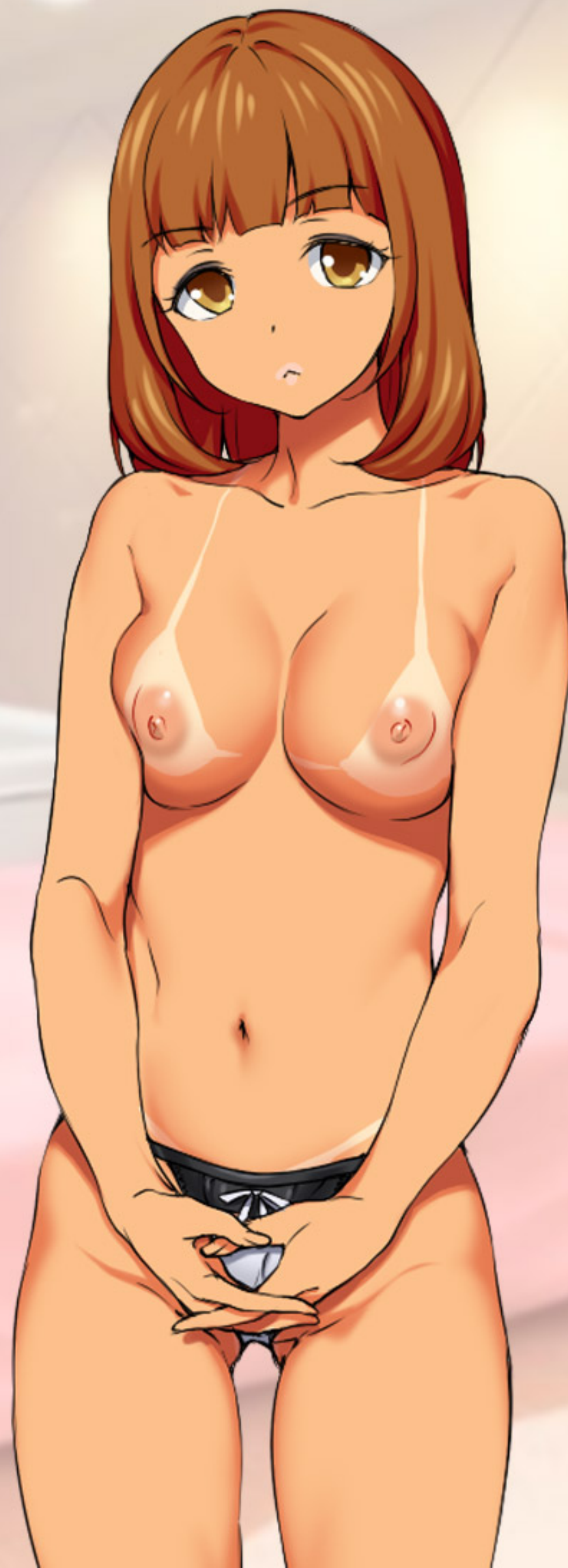
…30分じゃ…
ないですよ…

…え？

あたしがセンパイに
告白してから

もう何年経ったと
思ってるんですか…

み…三崎くん？



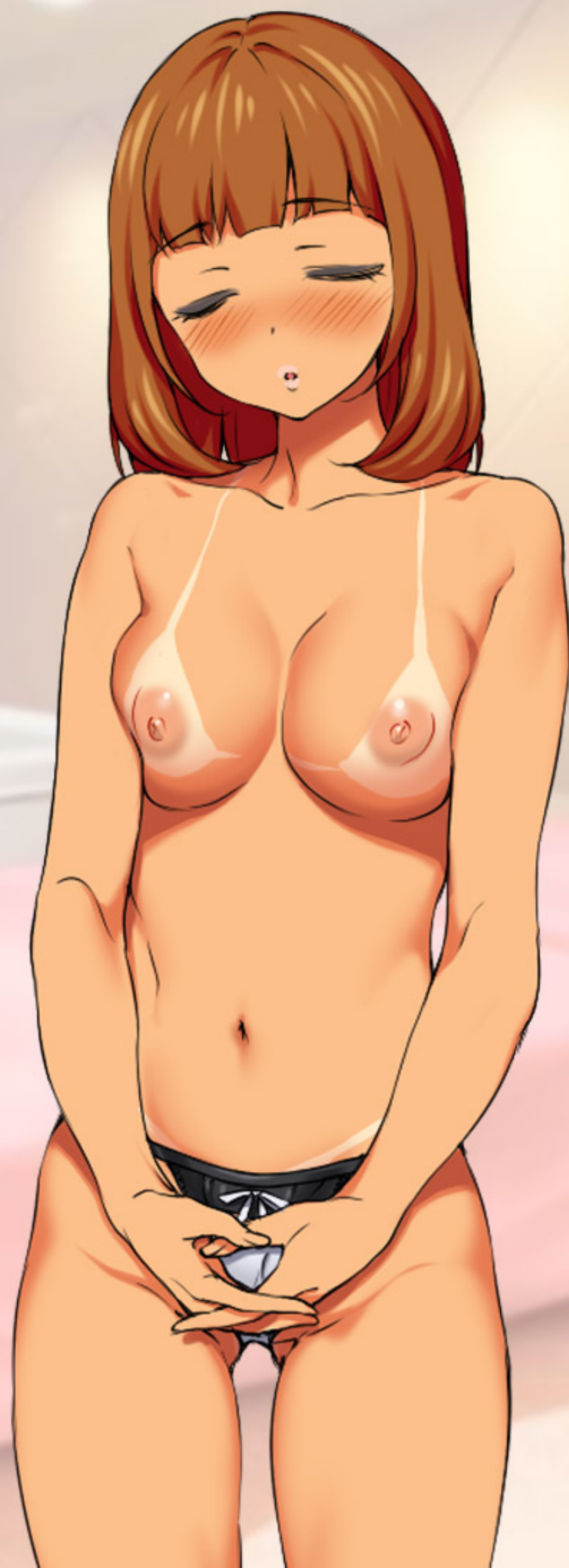
センパイ！
お願いします

女のコに恥
かかせないでください…

……



突然の…
彼女のそんな真剣な表情



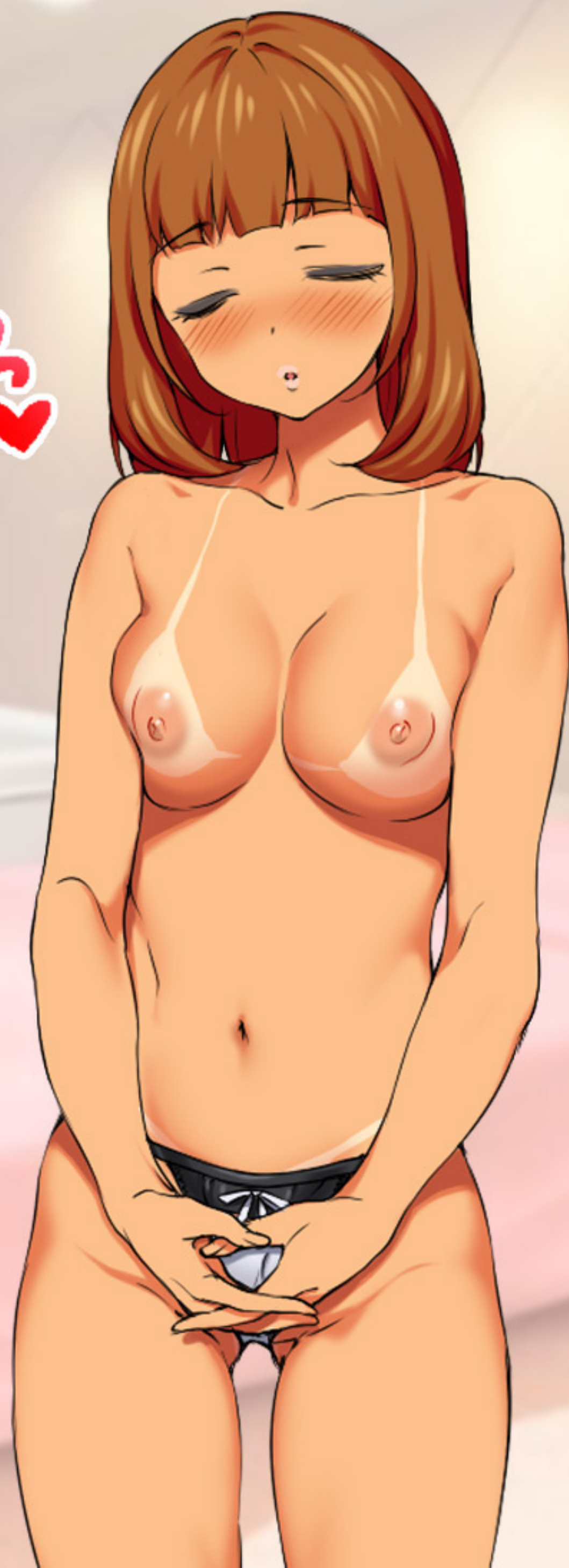
歩み寄る彼女は僕に寄り添い
目を閉じた

そして気が付いたら
唇を重ねあっていた

ちゅっ♡

それはまるで
愛し合う恋人のような…

とてもとても
情熱的なキスだった









くちゅ♡

ちゅっ♡
せん…ぱあい♡
ちゅっ♡

んっ…ちゅ…
み三崎く…ん

ちゅ三♡

ぱあい♡

くちゅ♡

んふふ♡
ちゅつ♡

どうですか？
センパイ…あたしのキス♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

ど…どうも…
わけがわからなくて…

んふふ♡
ちゅ♡
ちゅ♡

くちゅ♡

ちゅ♡

初めこそ
唇を重ね合わせる
キスをしていた僕らだが…

やがてその僕の唇を割って
三崎くんの舌が入ってきたのだ

ぐわっ♡





くちゅ♡

ただでさえガチガチに
緊張していた僕はなすがまま…

三崎くんの舌と唇に
文字通り蹂躞されている
真っ最中だった

んハハハ

くちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡ センパイ？
まさか…キスまで
童貞だったんですか？

こ子供の頃…
母にチュット
された事はあるけれど…

こんな性的なキスは…
初めてだよ

んハハハ

くちゅ♡


ちゅ♡

んふふ♡ちゅっ♡
じゃあセンプイの
ファーストキスですね♪

ではっ感想をどうぞっ♡
んちゅ♡

か…感想!?
うう…その 感触と
匂いがすごいと言っか…

んふふ♡



一方的に蹂躪される
舌と唇の感触はもちろんの…

僕の身体に
密着し押し付けられる
彼女の乳房…

その未知の柔らかさに…
僕はますます硬直してしまう

んっ♡



そしてそれ以上に
感じる彼女の匂い…

髪からふんわりと香る
シャンプーのいい香りに…

僕は腰砕けになりそうなのを
こらえるのに必死だった

あまがみ堂

おじぎゅあーん

はぁっ はぁっ

なにか 出膣内に出てる♡

生ハメ撮り♡

あまがみ堂



んふふ♡
おじさまつたら...

もうこんなに
大きくして...
本当に嬉しいわ♪

すっすっ♡

艶やかな黒髪の美少女が…
俺のチンポに頬ずりをする

なんのためらいもなく
その綺麗な顔でうつとりと

すっすっ♡

くう…イチゴ
まだシャワーも
浴びていないんだが？

あ〜…
シャワーなんか
使ってしまったら…

おじさまの匂いが
しなくなってしまうわ

だだが—

すっすっ♡

もう…今日も日
忙しく働いた末の
匂いなのでしよう？

なら
恥ずべきモノではないわ…
むしろ誇るべきよ♪

すっすっ♡

……で
本音は？

蒸れて熟成された
おじさまの
おチンポの匂い…

はあん
たまんな♡

すっすっ♡

んっ♡

はああ
…どうしてこうなった

わが愛しの
援交JKこと『イチゴ』は
すっかり発情中だ

そしてなぜ
こんな事になっているかというと…

ん
ろっ♡

すっすっ♡

数分前



おじさま?
ハメ撮りをさせて欲しいの

部屋に入るなり
いきなりなんて事を
言い出すんだ!?

.....





だ…だつてえ

だつて…？

私達のグループで
ハメ撮りをしてないの…
私だけなのよ

……
……
は？



きっかけはね？
『地味子』って
あだ名の友達が…

自分の裸を
自撮りしていたのが
発覚したのよ

なん…だと？



なんでもそれを
彼氏に送りつけてた
みたいでね

まあ？ 彼氏にAVとかで
浮気させないという
効果もある様だけれど…

アレは完全に地味子の趣味ね…
むしろ嬉々として撮ってるわ

なんと…





そうしたらね…
『ギャル美』っていう
別の友達が…

こんなモノを
送りつけてきたのよ

なっ!?

ああ…あくまでコレは誤送信で
当人の意図したものではないわ

けれど…

ソレを指摘した私に

彼女はこう言ったのよ？

『えー

こんなのイマドキ
フツーじゃんw』



そんな筈がある訳ない…
私は友人たちに
聞いて回ったわ

そうしたら…

そ…
そうしたら？



私以外の全員が…
『ハメ撮りをしたことがある』
『ハメ撮りに興味がある』

または
『彼氏に望まれれば
是非してみたい♡』と！

なん…だと？



ワズズ!

だからお願いっ
おじさまあ!

私に…
ハメ撮りをさせて頂戴!!

だっ
だがしかし—
おわっ!?



いっさ…

そして俺は
イチゴに押し倒され…

濃厚なキスと共に
何度もハメ撮りのおねだりをされた

そしてそんな彼女の
可愛いおねだりに
俺が抗えるはずがなかった…

おじさまと
いちゃラブ
生セックス♡

ふふ…それでこんなに
出しちゃったのね♪

あああ

ふうん そんなに
気持ちよかったんだ？

勝ち気な笑みを浮かべて
イチゴがぺろりと
舌なめずりをする

ロっ

ほっぺっ

おじさまと
いちゃラブ
生セックス♡

なら言うまで
繋がったままどうぞ？

す好きに
すれば良いわ♪

んひっ
お…おチンポなんか
負けたりしないんだから♡

じゃあ
好きにするわ♡

ぬっ

んっ

おじさまと
いちゃラブ
生セックス♡



はひいっ!?
いぐっ♡

ぐわー

いぐっ♡
いぐっ♡

めめめ♡

…んっ♡ タマタマ…
上がってきましたよ♡

いつでもいいですからね？
キモチよく…ピュッピュッ♡
してください♡

あぁっ
三崎くんっ
いっ…イクっ

本当にキモチいい
黒ギャル後輩の
ご奉仕生ハメ♡

んあああつ♡
い…イク♡
まんこイク♡

あひつ…
マンコイクううん♡

ブルンッ

アッ

アッ

くっ!!

本当にキモチいい
黒ギャル後輩の
ご奉仕生ハメ♡

おじさまと
いちゃラブ
生ハメ撮り♡

ははっW イチゴくん…
すっかり撮られるのに
ハマってる様だね

だつてえ…
撮られてるって
思うと…

はあッ
はあッ…

びゅん
びゅん

いつもより
とっても興奮して—
んあっ♡

総集編

シナリオ：身から出た鯖

原画：会田孝信

おじさま...

だいすき♡

センパイ...

援交生ハメ女子♡

